

SNSトラブル各世代で

本紙くらし面の人気コーナー「人生案内」に、今年も数多くの相談が届いた。介護、子育て、夫婦関係などの普遍的な問題のほか、コロナ禍で変わる人づきあいやコミュニケーションのあり方を問うものが多かった。浸透するSNS絡みのトラブルも老若男女を問わず目についた。回答者11人が参加した座談会で1年を振り返り、1人にはコメントを寄せてもらった。(司会 小坂佳子・読売新聞東京本社生活部長)

2022 回答者座談会

印象

——1年を振り返り、相談文から感じた印象は。
出久根 文面から強い印象を感じた。コロナの影響だろうが、ちょっと気を静めて考えれば自分で解決できるようなことでも、誰かに不満をぶつけなければ収まらない。そんなイライラが文面ににじむ相談が多かった。
久田 同感だ。相手を罵倒する文言がすくなくて、そのまま言わなくても、と。絶望という言葉も多かった。特に夫婦間で、夫に対する言葉が厳しかった。

コロナ

——コロナ禍も3年。今年もいろんな影響をうかがわせる相談が寄せられた。
最相 コロナで人に会わないで済むことに心地よさを感じるという相談が印象的だった。人に会えずにつまらないかと思いきや、会うことは煩わしいことだったと気づいたという。コロナ禍が3年続き、その人の行動や考え、価値観の後遺症というふうなものも今表面化している。家庭内別居をした、酒量が増えたなどの相談も寄せられていた。今後こうした現象がどういう

回答者が挙げた印象深い相談	相談内容	年代・性別	掲載日
海原純子	私の強い父 我慢も限界	(40代女性)	2021年12月3日
藤原智美	海外の「彼」がお金無心	(30代女性)	2月4日
出久根達郎	仲間乗せ運転する父 心配	(50代女性)	3月2日
樋口恵子	70代 夫が女性とLINE	(70代女性)	6月16日
最相葉月	人と会わない今が幸せ	(60代女性)	6月17日
山田昌弘	子のため 妻の不倫認めたが	(30代男性)	8月19日
大日向雅美	育児で社会と離れ不安	(20代男性)	8月24日
佐貫葉子	パワハラ 訴えるべきか	(20代女性)	9月8日
いしいしんじ	応援してる選手 コメント削除	(50代女性)	9月27日
久田恵	指示待だけの夫 幻滅	(50代女性)	10月19日
増田明美	田舎の母が「帰ってきて」	(50代女性)	10月25日

(対象は座談会の開催日程にあわせ、昨年12月から今年11月まで)

◆掲載分の内訳 (2021年12月から2022年11月まで)



相談内

「人生案内」では年間(2021年12月)に計352件掲載した。年代別では、20代が

家族

行動も外に開かれなくなっていかないかと心配になる。
——今年も家族に関する相談は多く寄せられた。
山田 家族はこうあるべきだという固定観念から自由になつていく側面がある一方、とらわれている家族の姿を表した相談が印象的だった。子どものために妻の不倫を我慢しているという夫の相談は典

人生案内

ネット経由が増えた



いしいしんじさん (作家)

コロナ価値観に影響



最相葉月さん (ノンフィクションライター)

家庭内にも利害関係



久田恵さん (ノンフィクション作家)

「腐っても父」



きょうだいがい



藤原智美さん (作家)

介護の知識が不十分



佐貫葉子さん (弁護士)

親への幻想が大きい



海原純子さん (心療内科医)

文面に強いいらだち



出久根達郎さん (作家)

会えない切なさ共感



増田明美さん (スポーツジャーナリスト)

家族への評価厳しく



大日向雅美さん (恵泉女学園大学学長)

10月から回答者を務めるとくに印象に残ったのは、んの宣告を受けた50代男性でした。その人が、事業をてまで、妻との時間を大切にしていること、夫婦の絆と



大日向雅美さん